



国立大学法人

長岡技術科学大学

Nagaoka University of Technology

令和7年9月入学

令和8年4月入学

大学院工学研究科 修士課程 学 生 募 集 要 項

〔一 般 入 試〕

〔社 会 人 入 試〕

◎工学専攻（機械工学分野、電気電子情報工学分野、情報・経営システム工学分野、物質生物工学分野、環境社会基盤工学分野、量子・原子力統合工学分野）

入学時期		出願期間	入試期日
令和7年9月入学		令和7年3月17日(月) ～3月20日(木)	令和7年4月15日(火)
令和8年 4月入学	第1回募集	令和7年5月26日(月) ～5月29日(木)	令和7年7月1日(火)
	第2回募集	令和7年10月22日(水) ～10月27日(月)	令和7年11月18日(火)
	第3回募集※	令和8年1月19日(月) ～1月22日(木)	令和8年2月2日(月)

◎工学専攻（システム安全工学分野）

入学時期		出願期間	入試期日
令和8年 4月入学	第1回募集	令和7年9月1日(月) ～9月4日(木)	令和7年9月28日(日)
	第2回募集	令和8年1月19日(月) ～1月22日(木)	令和8年2月1日(日)
	第3回募集※	令和8年2月13日(金) ～2月17日(火)	令和8年3月1日(日)

※第3回募集については、第2回募集までの志願状況等により、分野によっては実施しない場合があります。

大学院工学研究科 修士課程 学生募集要項

試験日程や入試方法等が変更となる可能性があります。変更する場合は、速やかに本学ホームページ (<https://www.nagaokaut.ac.jp/>) に掲載します。

工学研究科修士課程入学者受入方針(アドミッションポリシー)

【求める学生像】

長岡技術科学大学は、活力 (Vitality)、独創力 (Originality) 及び世のための奉仕 (Services) を重んじる VOS の精神をモットーとしています。

本学修士課程が育成を目指す人材像は、情報技術を活用し、安全に関する考え方を身につけ、技術をグローバルに展開できる高度な実践的・創造的能力を備えた指導的技術者・研究者です。

そこで、本学は入学を希望する学生に対し、次のような能力と資質を求めます。

1. 技術科学各分野の専門の基礎知識と技能、及び専門に関わる情報技術を身につけた人
2. 研究活動により専門を深めるとともに、複数の分野を学んで異分野融合領域を開拓しようとする人
3. 技術と社会、安全、環境との関わりを理解して技術開発・研究を進めることのできる人
4. 世界の多様な人々とコミュニケーションができ、チームでの協働を積極的に行える人
5. 自ら考え主体性を持って物事に取り組み、公正な判断ができる人

【入学者選抜の基本方針】

志願者を広く募集し、複数の受験機会を提供するため、学内進学者選抜(推薦・学力)及び一般入試のほか、高等専門学校専攻科修了見込者推薦入試、社会人入試及び外国人留学生入試等の特別選抜を実施します。

これらにおいて求める学生像にふさわしい学生を選抜するため、口頭試問を含む面接と書類審査により、志願者の能力と資質を評価します。

※各分野のアドミッションポリシーは、下記 URL から確認してください。

https://www.nagaokaut.ac.jp/nyuushi/admicpolicy/kougakukenkyu/admicpolicy_m.html

令和 8 年 4 月入学については、1 ページから 15 ページ

工学専攻(機械工学分野、電気電子情報工学分野、
情報・経営システム工学分野、物質生物工学分野、環境社会基盤工学分野、
量子・原子力統合工学分野)は、1 ページから 8 ページ
工学専攻(システム安全工学分野)は、9 ページから 15 ページ

令和 7 年 9 月入学については、16 ページから 23 ページ

を参照してください。

目 次

工学研究科修士課程入学者受入方針

令和 8 年 4 月入学

機械工学分野、電気電子情報工学分野、
工学専攻 情報・経営システム工学分野、物質生物工学分野、
環境社会基盤工学分野、量子・原子力統合工学分野

1	募集人員等	1
2	出願資格	1
3	分野の選定等	3
4	出願手続	3
5	入試方法	6
6	入試の日時及び場所	7
7	合格者の発表	7
8	入学手続等	7
9	募集要項の交付	7
10	個人情報の取り扱いについて	7
11	身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談について	7
12	その他	8
13	志望分野・講座名	8

令和 8 年 4 月入学

[工学専攻 システム安全工学分野]

1	募集人員等	9
2	出願資格	9
3	システム安全工学分野の講座等について	11
4	出願手続	11
5	入試方法	14
6	入試の日時及び場所	14
7	合格者の発表	14
8	入学手続等	14
9	募集要項の交付	15
10	個人情報の取り扱いについて	15
11	守秘義務について	15
12	身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談について	15
13	その他	15

令和 7 年 9 月入学

機械工学分野、電気電子情報工学分野、
工学専攻 情報・経営システム工学分野、物質生物工学分野、
環境社会基盤工学分野、量子・原子力統合工学分野

1	募集人員等	16
2	出願資格	16
3	分野の選定等	18
4	出願手続	18
5	入試方法	21
6	入試の日時及び場所	21
7	合格者の発表	22
8	入学手続等	22
9	募集要項の交付	22
10	個人情報の取り扱いについて	22
11	身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談について	22
12	その他	22
13	志望分野・講座名	23

共通事項

試験場への交通案内	24
入学志願票・受験票等 記入上の注意	25
大学院修士課程における長期履修学生制度について	26
社会人学生のための教育方法の特例について	27

出願書類

- 1 入学志願票・受験票・検定料振込済証明書貼付票
- 2 検定料振込依頼書
- 3 志望調書
- 4 出願資格認定審査調書
- 5 宛名票
- 6 社会人入試による特例措置希望書
- 7 推薦書（特例措置希望者用） ※本学 HP からダウンロード可

出願先、問い合わせ先

〒940-2188

新潟県長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学 入試課 入学試験第 1 係

TEL 0258 (47) 9271・9273 FAX 0258 (47) 9070

e-mail: nyushigroup@jcom.nagaokaut.ac.jp

令和8年4月入学

工 学 専 攻

機 械 工 学 分 野
電 気 電 子 情 報 工 学 分 野
情 報 ・ 経 営 シ ス テ ム 工 学 分 野
物 質 生 物 工 学 分 野
環 境 社 会 基 盤 工 学 分 野
量 子 ・ 原 子 力 統 合 工 学 分 野

※ システム安全工学分野については、9 ページから 15 ページを参照してください。

令和 8 年 4 月入学

※システム安全工学分野については、9 ページから 15 ページを参照してください。

1. 募集人員等

(1) 募集人員

研究科・ 専攻名	分野名	募集人員			
		第 1 回募集		第 2 回募集	第 3 回募集 ※2
		一般※1	社会人	一般・社会人	一般・社会人
工学研究科 ・工学専攻	機 械 工 学 分 野	94 人	各分野 若干人	各分野 若干人	各分野 若干人
	電 気 電 子 情 報 工 学 分 野	104 人			
	情報・経営システム工学分野	50 人			
	物 質 生 物 工 学 分 野	87 人			
	環 境 社 会 基 盤 工 学 分 野	54 人			
	量子・原子力統合工学分野	15 人			
計		404 人			

※1 学内推薦入試・学内学力入試を含む。

※2 第 3 回募集は、第 2 回募集までの志願状況等により、分野によっては実施しない場合があります。第 3 回募集に出願を希望する場合は、事前に志望分野が第 3 回募集を実施するかどうかを入試課入学試験第 1 係に確認してください。（本学ホームページにも掲載します。）

(2) 社会人入試について

社会人入試には、次の二つのコースがあります。

なお、在職のまま入学する者については、大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例として夜間その他特定の時間又は時期に授業又は研究指導を受けることができる制度があります。（詳細は 27 ページを参照してください。）

①一般コース

一般的な社会人のための再教育のコースです。

②長期履修学生コース

このコースは、職業を有していること等の事情により学習時間が制約され、標準修業年限内での修学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。

授業料については、通常修業年限（修士課程 2 年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に均分して支払います。ただし、授業料が改定された場合、又は長期履修期間に変更があった場合には、改定又は変更時に授業料の見直しを行うこととなります。（詳細は 26 ページを参照してください。）

2. 出願資格

(1) 一般入試

- ① 大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び令和 8 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者

- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 8 年 3 月までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- ⑨ 令和 8 年 3 月までに大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得できる又は修得したと本学大学院が認めた者
- ⑩ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

(2) 社会人入試

①一般コース

- ア 上記(1)の①～⑧の者で、令和 8 年 3 月 31 日において、企業等で 2 年以上職員として勤務経験のある者
- イ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者で、企業等で 2 年以上職員として勤務経験のある者

②長期履修学生コース

出願時において有職者、又は家事、育児に従事している者で、入学後その事情により著しく学習時間の制約を受ける者であり、次のいずれかの出願資格に該当する者（見込者は除く。）

- ア 上記(1)の①～⑧に該当する者
- イ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び令和 8 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

(注 1) 上記出願資格(1)の⑨、⑩、(2)の①ーイ、②ーイに該当する者については、事前に出願資格審査が必要です。次の書類を、下記の期日までに提出してください。

第 1 回募集出願希望：令和 7 年 4 月 25 日（金）
 第 2 回募集出願希望：令和 7 年 9 月 18 日（木）
 第 3 回募集出願希望：令和 7 年 12 月 5 日（金）

出願資格審査は、提出された書類等を基に大学を卒業した者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。なお、出願資格審査の結果は、第 1 回募集は 5 月 9 日（金）、第 2 回募集は 10 月 7 日（火）、第 3 回募集は 12 月 19 日（金）以降に大学から発送します。審査の結果、出願資格を認定された者のみ出願を受理します。

審査に必要な書類：

(1)の⑨に該当の場合

- ・出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- ・在学証明書、成績証明書等

(1)の⑩及び(2)の①ーイ、②ーイに該当の場合

- ・出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- ・学習歴を証明する書類（卒業証明書及び成績証明書等）
- ・実務経験及び国際的活動経験等を表す書類の写し（論文、研究報告、特許実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等）

※なお、学歴・経歴によっては、上記以外の書類の提出を求めることがあります。

(注 2) 長期履修学生コースを希望する者は、必ず 26 ページの長期履修学生制度の内容を熟読し、学務課教務係へ問い合わせた上で、下記の期限までに関係書類を提出してください。

第 1 回募集出願希望：令和 7 年 4 月 15 日（火）

第 2 回募集出願希望：令和 7 年 9 月 17 日（水）

第 3 回募集出願希望：令和 7 年 11 月 11 日（火）

3. 分野の選定等

入学志願者は、8 ページの「13. 志望分野・講座名」から、志望する 1 分野を選び、併せて志望する講座と志望指導教員を選んでください。志望する指導教員は、可能であれば記入してください。

入学志願者は、出願する前に、本学で志望する分野の講座の教員と相談してください。

(注) 分野及び講座の選定等にあたっては、別冊「修士課程担当教員等一覧」及び本学ホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<https://www.nagaokaut.ac.jp/annai/daigakusyokai/list.html>

4. 出願手続

(1) 出願期間

第 1 回募集：令和 7 年 5 月 26 日（月）～令和 7 年 5 月 29 日（木）〔期間内必着〕

第 2 回募集：令和 7 年 10 月 22 日（水）～令和 7 年 10 月 27 日（月）〔期間内必着〕

第 3 回募集：令和 8 年 1 月 19 日（月）～令和 8 年 1 月 22 日（木）〔期間内必着〕

(注 1) 第 3 回募集は、第 2 回募集までの志願状況等によっては実施しない場合があります。

第 3 回募集に出願を希望する場合は、事前に志望分野が第 3 回募集を実施するかどうかを入試課入学試験第 1 係に確認してください。

(注 2) 本学では、当該出願に係る入学試験の日の初日から 3 年を遡った日の属する年度の 4 月 1 日以降に発生した激甚災害（激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和 37 年 9 月 6 日法律第 150 号）に基づき認定された災害をいいます。）の被災者に対する特例措置として、検定料の全額免除の制度を設けています。

この制度により検定料免除を希望する場合は、次の要件を確認し、検定料を支払う前に入試課入学試験第 1 係（電話 0258-47-9271、9273）に連絡のうえ、申請手続きの指示を受けてください。

【要件】

出願者又は出願者の学資を主として負担している者が激甚災害の被災地域に居住し、かつ、その者が居住する家屋が当該激甚災害により次のいずれかに該当する被害を受けた場合

- ・全壊（全焼、家屋流失を含む）
- ・半壊又は大規模半壊（半焼を含む）

【申請に必要な書類】

- ・検定料免除申請書（本学所定の様式）
- ・り災証明書（出願期間までにり災証明書を入手できない場合は、入試課入学試験第 1 係に相談してください。）

(2) 出願に必要な書類等

- 一般入試の出願書類は、1～10 です。
- 社会人入試 ①一般コースの出願書類は、1～12 です。
- 社会人入試 ②長期履修学生コースの出願書類は、1～10 及び 13、14 です。
- 社会人入試において、教育方法の特例を希望する者は、更に 15、16 の書類の提出が必要です。

出願に必要な書類等		摘 要
1	入学志願票・受験票	必要事項を本人が記入してください。 写真は、正面上半身無帽（縦 40mm×横 30mm）で、出願以前 3 か月以内に撮影したものを所定欄に貼り付けてください。
2	検定料振込済証明書貼付票	検定料振込済証明書を貼り付けてください。
3	検定料（本学所定の検定料振込依頼書により振込）	30,000 円 金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局を除く。）の受付窓口からの振り込みに限ります。（A T M は使用不可。） 振込手数料は、出願者の負担です。 検定料の振り込みは出願期間の始まる 3 週間前から行えます。 検定料を振り込んだ時に、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」と「受取書」を必ず受け取ってください。 「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 ※ 海外に在住し、本学所定の検定料振込依頼書を使用できない者は、必ず事前に入試課入学試験第 1 係へ問い合わせてください。
4	成績証明書	出身学校の所定のもので厳封したもの ※ 大学に編入学で入学した者及び専攻科出身者は、大学編入学前の出身学校又は専攻科入学前の成績証明書も提出してください。
5	卒業又は修了（見込）証明書	出身学校の所定のもの
6	学位授与証明書又は学位授与申請（予定）証明書	大学改革支援・学位授与機構又は出身学校所定のもの ※ 出願資格(1)－②等の該当者のみ
7	高度専門士の称号授与（見込）証明書	出身学校所定のもの ※ 出願資格(1)－⑦等の該当者のみ
8	志望調書	必要事項を本人が記入してください。
9	宛名票	合格、その他の通知に使用しますので、5 か所すべてに所要事項を記入してください。
10	返信用封筒（長形 3 号 235mm×120mm）	本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、410 円分の切手（速達郵便料金を含む。）を貼り付けてください。受験票等の送付に使用します。

11	在職期間証明書等	企業等での2年以上の勤務経験を確認できる書類 (例えば、勤務先の証明書、健康保険証の写し、ねんきん定期便の写し、雇用保険被保険者資格喪失確認通知書等)
12	業績報告書(様式任意)	在職中に本人が行った業務内容の概要(1,000字以内・関係資料がある場合は添付してください。)その他本人の業績を表す文書の写し(論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等)
13	長期履修計画書(写)	26ページの手続きの際に作成したものの写し
14	在職証明書	所属長が証明した在職証明書(様式は任意)又はそれに代わるもの
15	社会人入試による特例措置希望書	教育方法の特例措置を希望する者は、指導予定教員の合意を得た上で提出してください。詳細は、27ページを参照してください。
16	推薦書(特例措置希望者用)	本学所定の用紙により、所属長が作成したもの

(注1) 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、記載事項の変更を認めません。ただし、現住所、受験のための連絡場所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

(注2) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
- ② 出願が受理されなかった場合
- ③ 検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

〔返還請求の方法〕

下記担当まで問い合わせのうえ、「検定料還付請求書」(本学所定の書式)を入手してください。(窓口にてお渡しするか、郵送等によりお送りします。)

「検定料還付請求書」に必要事項を記入し、「検定料振込済証明書」を添付して、速やかに下記担当まで提出してください。

送付先(担当): 〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学財務課経理係

TEL: 0258-47-9215 FAX: 0258-47-9040

※ 返還には、本学で「検定料還付請求書」を受理した後、約1か月程度の期間を要します。

(3) 出願書類の提出

出願書類等は、郵送又は持参してください。

郵送の場合: 角形2号(330mm×240mm)の封筒により、簡易書留・速達郵便とし、封筒の表に「修士課程出願書類在中」と記入してください。郵送期間を十分考慮のうえ必ず出願期間内に着くようにしてください。

出願書類 宛先

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1

長岡技術科学大学 入試課

電話 0258-47-9271・9273

FAX 0258-47-9070

持参の場合: 出願期間内の平日の9時から17時までの間に持参してください。

(4) メールアドレスの登録

出願書類の郵送を済ませたら、入学志願票に記載したメールアドレスから下記宛てにメールをしてください。その際、メールのタイトルに【修士課程出願】と記入し、本文に、①氏名、②出身大学名、③志望分野名、④受験のための連絡先を記載してください。

送付先：nyushigroup@jcom.nagaokaut.ac.jp

5. 入試方法

口述試験及び面接の各結果と提出された調書等の内容を総合して行います。

(1) 口述試験

次の表のとおり、志願者が専攻しようとする学問分野において、学習に必要な基礎ができているか試問（板書等を含む。）を行います。

分野名	試問内容（科目名）
機 械 工 学 分 野	機械工学に関する基礎的内容
電 気 電 子 情 報 工 学 分 野	(1) {「電気磁気学」 「電気回路」 「情報数学」} のうちから 1 科目 (2) {「通信・情報」 「電力」 「物性」} のうちから 1 科目 (1) (2) 合わせて計 2 科目を選択。
情報・経営システム工学分野	提出された志望調書の「特に研究したいテーマ」に関連する試問を行う（情報、経営、社会・経済に関連する基礎知識の試問を含む）。
物 質 生 物 工 学 分 野	提出された志望調書の「特に研究したいテーマ」に関連する試問を行う（物理化学、無機化学、有機化学、生命科学、生化学に関連する基礎知識の試問を含む）。
環 境 社 会 基 盤 工 学 分 野	{「構造工学」 「コンクリート工学」 「地盤工学」 「水理学」 「地域計画学」 「環境工学」} のうちから 2 科目を選択。
量子・原子力統合工学分野	提出された志望調書の「特に研究したいテーマ」に関連する試問を行う（原子力工学、量子ビーム工学、放射線等に関連する基礎知識の試問を含む）。

(注) 社会人入試について

上記の当該試問に加えて、提出された業績報告書の内容についての試問も行います。

(2) 面 接

(注) 社会人入試について

志願者が専攻しようとする学問分野における学習に必要な基礎的学力を有しているかの試問を含み、人物、適性を評価します。

6. 入試の日時及び場所

(1) 日時

- 第1回募集 令和7年 7月 1日（火）
- 第2回募集 令和7年 11月 18日（火）
- 第3回募集 令和8年 2月 2日（月）

(2) 場所：長岡技術科学大学

試験場等の詳細については、別途、志願者に通知します。

7. 合格者の発表

- 第1回募集 令和7年 7月 17日（木）午前10時
- 第2回募集 令和7年 12月 4日（木）午前10時
- 第3回募集 令和8年 2月 19日（木）午前10時

本学に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

また、合格発表後、合格者の受験番号を本学のホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp>）にも掲載します。

なお、「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

（電話等による可否の照会には、一切応じません。）

8. 入学手続等

(1) 入学手続

入学手続時には「所定の書類（誓約書、保証書等）」の提出及び「入学料等」の納入をすることとなります。

(2) 納入経費

令和8年度入学者に係る具体的な金額は未定です。

【参考】令和7年度入学者

入学料 282,000 円

授業料 535,800 円（年額）

9. 募集要項の交付

郵送を希望するときは、封筒の表に「修士課程（一般入試・社会人入試）学生募集要項請求」と記入し、返信用封筒を同封して、申し込んでください。

詳しくは、本学ホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp>）をご覧ください。

返信用封筒：角形2号（330mm×240mm）の大きさのものを使用して、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、320円分の切手（速達の場合は620円分の切手）を貼り付けてください。

10. 個人情報の取り扱いについて

入学者選抜に関する個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

- ①入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する事項
- ②入学後の学務業務における学籍・成績管理
- ③入学者選抜方法及び大学教育研究改善のための調査・統計・分析

※③の調査・統計・分析結果を公表する場合は、個人が特定できないように処理します。

11. 身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談について

身体に障がい等があり、受験上や修学上の配慮を必要とする場合は、出願開始日の2週間前までに入試課入学試験第1係に相談してください。

12. その他

- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しない場合がありますので、十分注意してください。
- (2) 出願書類等を受理したときは、「受験票」及び「受験者心得」を送付します。
- (3) 出願等に関して不明な点があるときは、入試課入学試験第1係まで問い合わせてください。

13. 志望分野・講座名

研究科・ 専攻名	分野名	講座名
工学研究科・ 工学専攻	機 械 工 学 分 野	機械情報・制御工学講座
		設計・生産工学講座
		熱・流体工学講座
		材料システム工学講座
		創未来テクノロジー講座
	電 気 電 子 情 報 工 学 分 野	電気エネルギー・制御工学講座
		電子デバイス・光波制御工学講座
		情報通信制御工学講座
	情 報 ・ 経 営 シ ス テ ム 工 学 分 野	応用情報学講座
		マネジメントシステム講座
		データサイエンス講座
	物 質 生 物 工 学 分 野	資源活用工学講座
		材料創成工学講座
		生体環境工学講座
	環 境 社 会 基 盤 工 学 分 野	社会基盤デザイン講座
		社会基盤マネジメント講座
		防災システム講座
		環境マネジメント講座
	量 子 ・ 原 子 力 統 合 工 学 分 野	原子力安全講座
		原子力技術講座
		量子・放射線講座

令和 8 年 4 月入学

工 学 専 攻

〔 シ ス テ ム 安 全 工 学 分 野 〕

※ システム安全工学分野以外の分野については、1 ページから 8 ページ
を参照してください。

令和 8 年 4 月入学

※システム安全工学分野以外の工学専攻各分野については、1 ページから 8 ページを参照してください。

1. 募集人員等

(1) 募集人員

研究科・ 専攻名	分野名	募集人員		
		一般入試・社会人入試		
		第 1 回募集※1	第 2 回募集	第 3 回募集※2
工学研究科 ・工学専攻	システム安全工学分野	7 人	8 人	若干人
計		15 人		

※1 学内推薦入試・学内学力入試を含む。

※2 第 3 回募集は、第 2 回募集までの志願状況等によっては実施しない場合があります。第 3 回募集に出願を希望する場合は、事前に第 3 回募集を実施するかどうかを入試課入学試験第 1 係に確認してください（本学ホームページにも掲載します）。

(2) 社会人入試について

社会人入試は、次の二つのコースがあります。

①一般コース

一般的な社会人のためのコースです。

②長期履修学生コース

このコースは、職業を有していること等の事情により学習時間が制約され、標準修業年限内での修学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。

授業料については、通常の修業年限（修士課程 2 年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に均分して支払います。ただし、授業料が改定された場合、又は長期履修期間に変更があった場合には、改定又は変更時に授業料の見直しを行うことになります。（詳細は 26 ページを参照してください。）

2. 出願資格

(1) 一般入試

- ① 大学を卒業した者及び令和 8 年 3 月までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び令和 8 年 3 月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして

文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和8年3月までに授与される見込みの者

- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和8年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- ⑨ 令和8年3月までに大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得できる又は修得したと本学大学院が認めた者
- ⑩ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和8年3月31日までに22歳に達する者

(2) 社会人入試

①一般コース

- ア 上記(1)の①～⑧の者で、令和8年3月31日において、企業等で2年以上職員として勤務経験のある者
- イ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和8年3月31日までに24歳に達する者で、企業等で2年以上職員として勤務経験のある者

②長期履修学生コース

出願時において有職者、又は家事、育児に従事している者で、入学後その事情により著しく学習時間の制約を受ける者であり、次のいずれかの出願資格に該当する者(見込者は除く。)

- ア 上記(1)の①～⑧に該当する者
- イ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者及び令和8年3月31日までに22歳に達する者

(注1) 上記出願資格(1)の⑨、⑩、(2)の①ーイ、②ーイに該当する者については、事前に出願資格審査が必要です。次の書類を、下記の期日までに提出してください。

- | | |
|---|-------------------------|
| { | 第1回募集出願希望：令和7年 8月 7日(木) |
| | 第2回募集出願希望：令和7年12月 5日(金) |
| | 第3回募集出願希望：令和8年 1月27日(火) |

出願資格審査は、提出された書類等を基に大学を卒業した者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。なお、出願資格審査の結果は、第1回募集は8月22日(金)、第2回募集は12月19日(金)、第3回募集は2月5日(木)以降に大学から発送します。審査の結果、出願資格を認定された者のみ出願を受理します。

審査に必要な書類：

(1)の⑨に該当の場合

- ・出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)
- ・在学証明書、成績証明書等

(1)の⑩及び(2)の①ーイ、②ーイに該当の場合

- ・出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)
- ・学習歴を証明する書類(卒業証明書及び成績証明書等)
- ・実務経験及び国際的活動経験等を表す書類の写し(論文、研究報告、特許実用新案、

著書等の写し、学会等での活動歴等)
 ※なお、学歴・経歴によっては、上記以外の書類の提出を求めることがあります。

(注2) 長期履修学生コースを希望する者は、必ず26ページの長期履修学生制度の内容を熟読し、学務課教務係へ問い合わせた上で、下記の期限までに関係書類を提出してください。

第1回募集出願希望：令和7年 8月 6日（水）
 第2回募集出願希望：令和7年 11月 11日（火）
 第3回募集出願希望：令和8年 1月 26日（月）

3. システム安全工学分野の講座等について

入学志願者は、下記の表から、志望する講座を選んでください。志望する指導教員は、可能であれば記入してください。

入学志願者は、出願する前に、本学で志望する講座の教員と相談してください。

研究科・専攻名	分野名	講座名
工学研究科 ・工学専攻	システム安全工学分野	安全規格・設計講座
		安全管理講座
		安全認証講座

(注1) 本分野及び講座等については、別冊「修士課程担当教員等一覧」及び本学ホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<https://www.nagaokaut.ac.jp/annai/daigakusyokai/list.html>

(注2) 本分野は、平日の勤務を継続しながら学ぶ社会人学生が多いため、土曜日と日曜日に集中的に授業を行う形態をとっており、原則として次の時間に講義等を行います。

✓ 土曜日：1限目 9:50～11:20、2限目 11:30～13:00、3限目 14:00～15:30、
 4限目 15:40～17:10、5限目 17:20～18:50

✓ 日曜日：1限目 8:50～10:20、2限目 10:30～12:00、3限目 13:00～14:30、
 4限目 14:40～16:10

社会人学生は、平均的に約1/3の週末に大学、あるいは東京サテライトキャンパス（東京メトロ銀座線「虎ノ門」から徒歩1分）に通うことになります。

一般学生は、上記の他、平日に指導教員の指導のもと他分野科目の履修や研究活動を行います。

4. 出願手続

(1) 出願期間

第1回募集：令和7年9月 1日（月）～令和7年9月 4日（木）〔期間内必着〕

第2回募集：令和8年1月 19日（月）～令和8年1月 22日（木）〔期間内必着〕

第3回募集：令和8年2月 13日（金）～令和8年2月 17日（火）〔期間内必着〕

(注1) 第3回募集は、第2回募集までの志願状況等によっては実施しない場合があります。第3回募集に出願を希望する場合は、事前に第3回募集を実施するかどうかを入試課入学試験第1係に確認してください。

(注2) 本学では、当該出願に係る入学試験の日の初日から3年を遡った日の属する年度の4月1日以降に発生した激甚災害（激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和37年9月6日法律第150号）に基づき認定された災害をいいます。）の被災者に対する特例措置として、検定料を全額免除する制度を設けています。

この制度により検定料免除を希望する場合は、次の要件を確認し、検定料を支払う前に入試課入学試験第1係に連絡のうえ、申請手続きの指示を受けてください。

【要件】

出願者又は出願者の学資を主として負担している者が激甚災害の被災地域に居住し、かつ、その者が居住する家屋が当該激甚災害により次のいずれかに該当する被害を受けた場合

- ・全壊（全焼、家屋流失を含む）
- ・半壊又は大規模半壊（半焼を含む）

【申請に必要な書類】

- ・検定料免除申請書（本学所定の様式）
- ・り災証明書（出願期間までにり災証明書を入手できない場合は、入試課入学試験第1係に相談してください。）

(2) 出願に必要な書類等

- a. 一般入試の出願書類は、1～10 です。
- b. 社会人入試①一般コースの出願書類は1～12 です。
- c. 社会人入試②長期履修学生コースの出願書類は1～10 及び 13、14 です。

出願に必要な書類等		摘 要
1	入学志願票・受験票	必要事項を本人が記入してください。 写真は、正面上半身無帽（縦 40mm×横 30mm）で、出願以前 3 か月以内に撮影したものを所定欄に貼り付けてください。
2	検定料振込済証明書貼付票	検定料振込済証明書を貼り付けてください。
3	検定料(本学所定の検定料振込依頼書により振込)	30,000 円 金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局を除く。）の受付窓口からの振り込みに限ります。（ATMは使用不可。） 振込手数料は、出願者の負担です。 検定料の振り込みは出願期間の始まる 3 週間前から行えます。 検定料を振り込んだ時に、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」と「受取書」を必ず受け取ってください。 「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。
4	成績証明書	出身学校の所定のもので厳封したもの ※ 大学に編入学で入学した者及び専攻科出身者は、大学編入学前の出身学校又は専攻科入学前の成績証明書も提出してください。
5	卒業又は修了(見込)証明書	出身学校の所定のもの
6	学位授与証明書又は学位授与申請(予定)証明書	大学改革支援・学位授与機構又は出身学校所定のもの ※ 出願資格(1)－②等の該当者のみ
7	高度専門士の称号授与(見込)証明書	出身学校所定のもの ※ 出願資格(1)－⑦等の該当者のみ
8	志望調書	必要事項を本人が記入してください。
9	宛名票	合格、その他の通知に使用しますので、5 か所すべてに所要事項を記入してください。
10	返信用封筒 (長形 3 号 235×120mm)	本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、410 円分の切手（速達郵便料金を含む。）を貼り付けてください。受験票等の送付に使用します。

11	在職期間証明書等	企業等での2年以上の勤務経験を確認できる書類 (例えば、勤務先の証明書、健康保険証の写し、ねんきん定期便の写し、雇用保険被保険者資格喪失確認通知書等)
12	業績報告書(様式任意)	在職中に本人が行った業務内容の概要(1,000字以内・関係資料がある場合は添付してください。) その他本人の業績を表す文書の写し(論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等)
13	長期履修計画書(写)	26ページの手続きの際に作成したものの写し
14	在職証明書	所属長が証明した在職証明書(様式任意)又はそれに代わるもの

(注1) 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、記載事項の変更を認めません。ただし、現住所、受験のための連絡場所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

(注2) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
- ② 出願が受理されなかった場合
- ③ 検定料等を誤って二重に振り込んだ場合
- ④ 出願後に国費外国人留学生への採用が決定し、本学に入学する場合

[返還請求の方法]

下記担当まで問い合わせのうえ、「検定料還付請求書」(本学所定の様式)を入手してください。
(窓口にてお渡しするか、郵送等によりお送りします。)

「検定料還付請求書」に必要事項を記入し、「検定料振込済証明書」を添付して、速やかに下記担当まで提出してください。

(担当) 〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1
長岡技術科学大学 財務課経理係
電話 0258-47-9215
FAX 0258-47-9040

※ 返還には、本学で「検定料還付請求書」を受理した後、約1か月程度の期間を要します。

(3) 出願書類の提出

出願書類等は、郵送又は持参してください。

郵送の場合：角形2号(330mm×240mm)の封筒により、簡易書留・速達郵便とし、封筒の表に

「修士課程出願書類在中」と記入してください。郵送期間を十分考慮のうえ、必ず出願期間内に着くようにしてください。

出願書類 宛先

〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1
長岡技術科学大学 入試課
電話 0258-47-9271・9273
FAX 0258-47-9070

持参の場合：出願期間内の平日の9時～17時までの間に持参してください。

(4) メールアドレスの登録

出願書類の郵送を済ませたら、入学志願票に記載したメールアドレスから下記宛てにメールをしてください。その際、メールのタイトルに【修士課程出願】と記入し、本文に、①氏名、②出身大学名、③志望分野名、④受験のための連絡先を記載してください。

送付先：nyushigroup@jcom.nagaokaut.ac.jp

5. 入試方法

(1) 一般入試

口述試験及び面接の各結果と提出された調書等の内容を総合して行います。

①口述試験：次の表のとおり志願者が専攻しようとする学問分野において、学習に必要な基礎ができているか試問（板書等を含む。）を行います。

専攻・分野名	試問内容（科目名）
工学専攻 システム安全工学分野	システム安全工学に関する基礎的内容

②面 接

(2) 社会人入試

書類審査、小論文、面接の各結果を総合して判定します。

①小論文：システム安全工学に関わる小論文

②面 接：職務に関わる専門知識及びシステム安全工学分野における学習に必要な基礎的学力を有しているかの試問を含み、人物、適性を評価する。

6. 入試の日時及び場所

第1回募集 令和7年9月28日（日） 長岡技術科学大学
第2回募集 令和8年2月1日（日） 長岡技術科学大学
第3回募集 令和8年3月1日（日） 長岡技術科学大学

試験区分	科目等	時間
一般入試	口述試験	10:00～
	面接	13:00～
社会人入試	小論文	10:00～11:00
	面接	13:00～

7. 合格者の発表

第1回募集 令和7年10月9日（木）午前10時
第2回募集 令和8年2月19日（木）午前10時
第3回募集 令和8年3月12日（木）午前10時

本学に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

また、合格発表後、合格者の受験番号を本学のホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp/>）にも掲載します。

なお、「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

（電話等による可否の照会には、一切応じません。）

8. 入学手続等

(1) 入学手続

入学手続時には「所定の書類（誓約書、保証書）」の提出及び「入学料等」を納入することとなります。

(2) 納入経費

令和 8 年度入学者に係る具体的な金額は未定です。

【参考】令和 7 年度入学者

入学料 282,000 円

授業料 535,800 円（年額）

9. 募集要項の交付

郵送を希望するときは、封筒の表に「修士課程（一般入試・社会人入試）学生募集要項請求」と記入し、返信用封筒を同封して、申し込んでください。

詳しくは、本学ホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp>）をご覧ください。

返信用封筒：角形 2 号（330mm×240mm）の大きさのものを使用して、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、320 円分の切手（速達の場合は 620 円分の切手）を貼り付けてください。

10. 個人情報の取り扱いについて

入学者選抜に関する個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

①入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する事項

②入学後の学務業務における学籍・成績管理

③入学者選抜方法及び大学教育研究改善のための調査・統計・分析

※③の調査・統計・分析結果を公表する場合は、個人が特定できないように処理します。

11. 守秘義務について

システム安全工学分野は実践的な教育を行うため、授業において、教員等から授業の場限りという限定を付けて、取組事例等の説明を受けることがあります。

この限定のついた情報は、本学外で口外しないことが求められますので留意して下さい。入学後、本学での学習を行う上で留意が必要な守秘義務等について説明を行いますので、説明内容を確認した旨の書類に署名をお願いします。

12. 身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談について

身体に障がい等があり、受験上や修学上の配慮を必要とする場合は、出願開始日の 2 週間前までに入試課入学試験第 1 係に相談してください。

13. その他

(1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しない場合がありますので、十分注意してください。

(2) 出願書類等を受理したときは、「受験票」及び「受験者心得」を送付します。

(3) 出願等に関しての不明な点は、入試課入学試験第 1 係まで問い合わせてください。

令和7年9月入学

工 学 専 攻

機 械 工 学 分 野
電 気 電 子 情 報 工 学 分 野
情 報 ・ 経 営 シ ス テ ム 工 学 分 野
物 質 生 物 工 学 分 野
環 境 社 会 基 盤 工 学 分 野
量 子 ・ 原 子 力 統 合 工 学 分 野

※ システム安全工学分野は、募集しません。

令和 7 年 9 月入学

1. 募集人員等

(1) 募集人員

研究科・ 専攻名	分野名	募集人員
		一般入試・社会人入試
工学研究科 ・工学専攻	機 械 工 学 分 野	各分野若干人
	電 気 電 子 情 報 工 学 分 野	
	情 報 ・ 経 営 シ ス テ ム 工 学 分 野	
	物 質 生 物 工 学 分 野	
	環 境 社 会 基 盤 工 学 分 野	
	量 子 ・ 原 子 力 統 合 工 学 分 野	

※システム安全工学分野は募集しません。

(2) 社会人入試について

社会人入試には、次の二つのコースがあります。

なお、在職のまま入学する者については、大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例として夜間その他特定の時間又は時期に授業又は研究指導を受けることができる制度があります。（詳細は 27 ページを参照してください。）

①一般コース

一般的な社会人のための再教育のコースです。

②長期履修学生コース

このコースは、職業を有していること等の事情により学習時間が制約され、標準修業年限内での修学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認めるものです。

授業料については、通常の修業年限（修士課程 2 年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に均分して支払います。ただし、授業料が改定された場合、又は長期履修期間に変更があった場合には、改定又は変更時に授業料の見直しを行うこととなります。（詳細は 26 ページを参照してください。）

2. 出願資格

(1) 一般入試

- ① 大学を卒業した者及び令和 7 年 8 月までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び令和 7 年 8 月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 7 年 8 月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 7 年 8 月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 7 年 8 月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了

すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 8 月までに授与される見込みの者

- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 7 年 8 月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
- ⑨ 令和 7 年 8 月までに大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得できる又は修得したと本学大学院が認めた者
- ⑩ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び令和 7 年 8 月 31 日までに 22 歳に達する者

(2) 社会人入試

①一般コース

- ア 上記(1)の①～⑧の者で、令和 7 年 8 月 31 日において、企業等で 2 年以上職員として勤務経験のある者
- イ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者及び令和 7 年 8 月 31 日までに 24 歳に達する者で、企業等で 2 年以上職員として勤務経験のある者

②長期履修学生コース

出願時において有職者、又は家事、育児に従事している者で、入学後その事情により著しく学習時間の制約を受ける者であり、次のいずれかの出願資格に該当する者（見込者は除く。）

- ア 上記(1)の①～⑧に該当する者
- イ 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達した者及び令和 7 年 8 月 31 日までに 22 歳に達する者

(注 1) 上記出願資格 (1) の⑨、⑩、(2) の①ーイ、②ーイに該当する者については、事前に出願資格審査が必要です。次の書類を、令和 7 年 2 月 7 日（金）までに提出してください。

出願資格審査は、提出された書類等を基に大学を卒業した者と同等以上の学力を有しているか等、総合的に審査します。なお、出願資格審査の結果は、2 月 26 日（水）以降に大学から発送します。

審査の結果、出願資格を認定された者のみ出願を受理します。

審査に必要な書類：

(1) の⑨に該当の場合

- ・ 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- ・ 在学証明書、成績証明書等

(1) の⑩及び (2) の①ーイ、②ーイに該当の場合

- ・ 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- ・ 学習歴を証明する書類（卒業証明書及び成績証明書等）
- ・ 実務経験及び国際的活動経験等を表す書類の写し（論文、研究報告、特許実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等）

※なお、学歴・経歴によっては、上記以外の書類の提出を求めることがあります。

(注 2) 長期履修学生コースを希望する者は、必ず 26 ページの長期履修学生制度の内容を熟読し、学務課教務係へ問い合わせた上で、令和 7 年 2 月 12 日（水）までに関係書類を提出してください。

3. 分野の選定等

入学志願者は、23 ページの「13. 志望分野・講座名」から、志望する 1 分野を選び、併せて志望する講座と志望指導教員を選んでください。志望する指導教員は、可能であれば記入してください。

入学志願者は、出願する前に、本学で志望する分野の講座の教員と相談してください。

(注) 分野及び講座の選定等にあたっては、別冊「修士課程担当教員等一覧」及び本学ホームページを参照してください。

ホームページアドレス：<https://www.nagaokaut.ac.jp/annai/daigakusyokai/list.html>

4. 出願手続

(1) 出願期間

令和 7 年 3 月 17 日（月）～令和 7 年 3 月 20 日（木）〔期間内必着〕

(注) 本学では、当該出願に係る入学試験の日の初日から 3 年を遡った日の属する年度の 4 月 1 日以降に発生した激甚災害（激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和 37 年 9 月 6 日法律第 150 号）に基づき認定された災害をいいます。）の被災者に対する特例措置として、検定料の全額免除の制度を設けています。

この制度により検定料免除を希望する場合は、次の要件を確認し、検定料を支払う前に入試課入学試験第 1 係（電話 0258-47-9271、9273）に連絡のうえ、申請手続きの指示を受けてください。

【要件】

出願者又は出願者の学資を主として負担している者が激甚災害の被災地域に居住し、かつ、その者が居住する家屋が当該激甚災害により次のいずれかに該当する被害を受けた場合

- ・全壊（全焼、家屋流失を含む）
- ・半壊又は大規模半壊（半焼を含む）

【申請に必要な書類】

- ・検定料免除申請書（本学所定の様式）
- ・り災証明書（出願期間までにり災証明書を入手できない場合は、入試課入学試験第 1 係に相談してください。）

(2) 出願に必要な書類等

- 一般入試の出願書類は、1～10 です。
- 社会人入試 ①一般コースの出願書類は、1～12 です。
- 社会人入試 ②長期履修学生コースの出願書類は、1～10 及び 13、14 です。
- 社会人入試において、教育方法の特例を希望する者は、更に 15、16 の書類の提出が必要です。

出願に必要な書類等		摘 要
1	入学志願票・受験票	必要事項を本人が記入してください。 写真は、正面上半身無帽（縦 40mm×横 30mm）で、出願以前 3 か月以内に撮影したものを所定欄に貼り付けてください。
2	検定料振込済証明書貼付票	検定料振込済証明書を貼り付けてください。
3	検定料（本学所定の検定料振込依頼書により振込）	30,000 円 金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局を除く。）の受付窓口からの振り込みに限ります。（A T Mは使用不可。） 振込手数料は、出願者の負担です。 検定料の振り込みは出願期間の始まる 3 週間前から行えます。 検定料を振り込んだ時に、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」と「受取書」を必ず受け取ってください。 「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 ※ 海外に在住し、本学所定の検定料振込依頼書を使用できない者は、必ず事前に入試課入学試験第 1 係へ問い合わせてください。
4	成績証明書	出身学校の所定のもので厳封したもの ※ 大学に編入学で入学した者及び専攻科出身者は、大学編入学前の出身学校又は専攻科入学前の成績証明書も提出してください。
5	卒業又は修了（見込）証明書	出身学校の所定のもの
6	学位授与証明書又は学位授与申請（予定）証明書	大学改革支援・学位授与機構又は出身学校所定のもの ※ 出願資格(1)－②等の該当者のみ
7	高度専門士の称号授与（見込）証明書	出身学校所定のもの ※ 出願資格(1)－⑦等の該当者のみ
8	志望調書	必要事項を本人が記入してください。
9	宛名票	合格、その他の通知に使用しますので、5 か所すべてに所要事項を記入してください。
10	返信用封筒 （長形 3 号 235mm×120mm）	本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、410 円分の切手（速達郵便料金を含む。）を貼り付けてください。受験票等の送付に使用します。
11	在職期間証明書等	企業等での 2 年以上の勤務経験を確認できる書類 （例えば、勤務先の証明書、健康保険証の写し、ねんきん定期便の写し、雇用保険被保険者資格喪失確認通知書等）
12	業績報告書（様式任意）	在職中に本人が行った業務内容の概要（1,000 字以内・関係資料がある場合は添付してください。） その他本人の業績を表す文書の写し（論文、研究報告、特許・実用新案、著書等の写し、学会等での活動歴等）
13	長期履修計画書（写）	26 ページの手続きの際に作成したものの写し
14	在職証明書	所属長が証明した在職証明書（様式は任意）又はそれに代わるもの

15	社会人入試による特例措置希望書	教育方法の特例措置を希望する者は、指導予定教員の合意を得た上で提出してください。詳細は、27 ページを参照してください。
16	推薦書（特例措置希望者用）	本学所定の用紙により、所属長が作成したもの

(注 1) 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。

また、記載事項の変更を認めません。ただし、現住所、受験のための連絡場所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。

(注 2) 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
- ② 出願が受理されなかった場合
- ③ 検定料等を誤って二重に振り込んだ場合

〔返還請求の方法〕

下記担当まで問い合わせのうえ、「検定料還付請求書」（本学所定の書式）を入手してください。（窓口にてお渡しするか、郵送等によりお送りします。）

「検定料還付請求書」に必要事項を記入し、「検定料振込済証明書」を添付して、速やかに下記担当まで提出してください。

（担当）〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1
 長岡技術科学大学 財務課経理係
 電話 0258-47-9215
 FAX 0258-47-9040

※ 返還には、本学で「検定料還付請求書」を受理した後、約 1 か月程度の期間を要します。

(3) 出願書類の提出

出願書類等は、郵送又は持参してください。

郵送の場合：角形 2 号 (330mm×240mm) の封筒により、簡易書留・速達郵便とし、封筒の表に「修士課程出願書類在中」と記入してください。郵送期間を十分考慮のうえ必ず出願期間内に着くようにしてください。

出願書類 宛先
 〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1
 長岡技術科学大学 入試課
 電話 0258-47-9271・9273
 FAX 0258-47-9070

持参の場合：出願期間内の平日の 9 時から 17 時までの間に持参してください。

(4) メールアドレスの登録

出願書類の郵送を済ませたら、入学志願票に記載したメールアドレスから下記宛てにメールをしてください。その際、メールのタイトルに【修士課程出願】と記入し、本文に、①氏名、②出身大学名、③志望分野名、④受験のための連絡先を記載してください。

送付先：nyushigroup@jcom.nagaokaut.ac.jp

5. 入試方法

口述試験及び面接の各結果と提出された調書等の内容を総合して行います。

(1) 口述試験

次の表のとおり、志願者が専攻しようとする学問分野において、学習に必要な基礎ができているか試問（板書等を含む。）を行います。

分野名	試問内容（科目名）
機 械 工 学 分 野	機械工学に関する基礎的内容
電 気 電 子 情 報 工 学 分 野	(1) {「電気磁気学」 「電気回路」 「情報数学」} のうちから 1 科目 (2) {「通信・情報」 「電力」 「物性」} のうちから 1 科目 (1) (2) 合わせて計 2 科目を選択。
情報・経営システム工学分野	提出された志望調書の「特に研究したいテーマ」に関連する試問を行う（情報、経営、社会・経済に関連する基礎知識の試問を含む）。
物 質 生 物 工 学 分 野	提出された志望調書の「特に研究したいテーマ」に関連する試問を行う（物理化学、無機化学、有機化学、生命科学、生化学に関連する基礎知識の試問を含む）。
環 境 社 会 基 盤 工 学 分 野	{「構造工学」 「コンクリート工学」 「地盤工学」 「水理学」 「地域計画学」 「環境工学」} のうちから 2 科目を選択
量子・原子力統合工学分野	提出された志望調書の「特に研究したいテーマ」に関連する試問を行う（原子力工学、量子ビーム工学、放射線等に関連する基礎知識の試問を含む）。

（注）社会人入試について

上記の当該試問に加えて、提出された業績報告書の内容についての試問も行います。

(2) 面 接

（注）社会人入試について

志願者が専攻しようとする学問分野における学習に必要な基礎的学力を有しているかの試問を含み、人物、適性を評価します。

6. 入試の日時及び場所

(1) 日時

令和 7 年 4 月 15 日（火）

(2) 場所

長岡技術科学大学

試験場等の詳細については、別途、志願者に通知します。

7. 合格者の発表

令和7年5月8日（木）午前10時

本学に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

また、合格発表後、合格者の受験番号を本学のホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp>）にも掲載します。

なお、「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

（電話等による合否の照会には、一切応じません。）

8. 入学手続等

入学手続の詳細については、「合格通知書」とともに送付します。

(1) 入学手続

入学手続時には「所定の書類（誓約書、保証書等）」の提出及び「入学料等」の納入をすることとなります。

(2) 納入経費

① 入学料 282,000 円（既納の入学料は、いかなる事情があっても返還しません。）

② 授業料 535,800 円（年額）

入学手続時に前期分（9月1か月分）の授業料 44,650 円を納入してください。

後期分 267,900 円については、入学手続時又は11月に納入してください。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時より新授業料が適用されます。

9. 募集要項の交付

郵送を希望するときは、封筒の表に「修士課程（一般入試等9月入学）学生募集要項請求」と記入し、返信用封筒を同封して、申し込んでください。

詳しくは、本学ホームページ（<https://www.nagaokaut.ac.jp>）をご覧ください。

返信用封筒：角形2号（330mm×240mm）の大きさのものを使用して、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、320円分の切手（速達の場合は620円分の切手）を貼り付けてください。

10. 個人情報の取り扱いについて

入学者選抜に関する個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

①入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する事項

②入学後の学務業務における学籍・成績管理

③入学者選抜方法及び大学教育研究改善のための調査・統計・分析

※③の調査・統計・分析結果を公表する場合は、個人が特定できないように処理します。

11. 身体に障がい等を有する入学志願者との事前相談について

身体に障がい等があり、受験上や修学上の配慮を必要とする場合は、出願開始日の2週間前までに入試課入学試験第1係に相談してください。

12. その他

(1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しない場合がありますので、十分注意してください。

(2) 出願書類等を受理したときは、「受験票」及び「受験者心得」を送付します。

(3) 出願等に関して不明な点があるときは、入試課入学試験第1係まで問い合わせてください。

13. 志望分野・講座名

研究科・ 専攻名	分野名	講座名
工学研究科・ 工学専攻	機 械 工 学 分 野	機械情報・制御工学講座
		設計・生産工学講座
		熱・流体工学講座
		材料システム工学講座
		創未来テクノロジー講座
	電 気 電 子 情 報 工 学 分 野	電気エネルギー・制御工学講座
		電子デバイス・光波制御工学講座
		情報通信制御工学講座
	情 報 ・ 経 営 シ ス テ ム 工 学 分 野	応用情報学講座
		マネジメントシステム講座
		データサイエンス講座
	物 質 生 物 工 学 分 野	資源活用工学講座
		材料創成工学講座
		生体環境工学講座
	環 境 社 会 基 盤 工 学 分 野	社会基盤デザイン講座
		社会基盤マネジメント講座
		防災システム講座
		環境マネジメント講座
	量 子 ・ 原 子 力 統 合 工 学 分 野	原子力安全講座
		原子力技術講座
		量子・放射線講座

共 通 事 項

試験場への交通案内

〔路線バス〕

J R長岡駅 大手口の越後交通バス7番線乗場から乗車

技大前経由 県立歴史博物館線

技大前経由 ニュータウンセンター線

技大前経由 長岡崇徳大学東口線

(長岡駅 = 大手大橋 = 希望が丘 = 新産センター = 長峰団地 = 技大前 = 県立歴史博物館
= ニュータウンセンター)
= 長岡崇徳大学東口)

所要時間 約30分「技大前」下車

〔タクシー〕

J R長岡駅で下車 駅大手口から乗車 所要時間 約20分

(距離は約8.5km)

長岡技術科学大学行き定期バス乗場案内



入学志願票・受験票等 記入上の注意

◎全般について

1. 記入には、黒色ボールペンを用い、文字は楷書で丁寧に書いてください。
※筆記した文字等を容易に消すことができるボールペンは使用しないでください。
2. 太線のわく内のみ、記入してください。なお、該当する事項の□にチェック(✓)を入れ、写真を所定欄に貼り付けてください。
3. 数字は、算用数字を用いてください。
4. 出願後は、記載事項の変更を認めません。
5. 入学志願票に、事実を隠したり、偽りを書いたりすると、入学許可を取り消すことがあります。

◎各欄の記入について

①「募集区分」

募集区分のいずれかの□にチェック(✓)を入れてください。

②「氏名等」

志願者本人の氏名、生年月日を記入し、男・女いずれかにチェックを入れてください。

氏名は、通称・略字などを使用せず、必ず戸籍のとおりに入力してください。

また、社会人入試希望者で現職の者は、勤務先名等も記入してください。

③「出願資格」

出身学校、学部、学科名及び卒業(見込)年月などの該当事項を記入し、該当のものにチェックを入れてください。

個別の出願資格審査の認定者は「出願資格認定」にチェックを入れてください。

④「受験のための連絡場所」

出願時から入学決定時まで、最も迅速、確実に受信できる場所及び電話番号を記入してください。

なお、出願後、変更が生じた場合は、速やかに届け出てください。

⑤「志望分野名・志望する講座名等」

3 ページ(4月入学)・18 ページ(9月入学)の「3. 分野の選定等」、11 ページの「3. システム安全工学分野の講座等について」並びに8 ページ(4月入学)・23 ページ(9月入学)の「13. 志望分野・講座名」の説明を参照のうえ、記入してください。

志望する指導教員がいる場合は、志望する講座名の下に志望する指導教員名を記入してください。(講座等で第2志望以下がない場合は、斜線を引いてください。)

⑥「選択科目」

6 ページ(4月入学)・21 ページ(9月入学)の「5. 入試方法(1) 口述試験」を参照のうえ、試問内容が科目選択制の場合、選択受験する科目を記入してください。

試問内容が科目選択制でない場合は、受験票の選択科目欄に斜線を引いてください。

入学志願票と受験票の選択受験科目等が異なって記入されている場合は、入学志願票を正として取り扱います。

⑦「社会人入試 希望コース区分」

社会人入試出願者のみ、該当するコースの□にチェック(✓)を入れてください。

なお、一般入試の出願者は、記入の必要はありません。

⑧「履歴」

高等学校若しくは高等専門学校等の卒業時からの学歴及び職歴を記入してください。

なお、元号は該当するものを○で囲んでください。

⑨「検定料振込済証明書貼付票」

検定料を本学所定の検定料振込依頼書で振り込みのうえ、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」を必ず受け取り、「検定料振込済証明書貼付票」の所定の位置に貼り付けてください。なお、「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。

大学院修士課程における長期履修学生制度について

本学では、大学や高等専門学校を卒業し就職した社会人等が大学院に入学を希望する場合で、職業を有している事情等により学習時間が制約され、標準修業年限内での修学が困難な者であると認められた場合は、標準修業年限を超えて一定期間を加えた期間に、計画的な教育課程の履修を認める制度を設けています。

この制度を利用できる者は、1 ページ・9 ページ（4 月入学）・16 ページ（9 月入学）に記載している社会人入試の「長期履修学生コース」に出願し、合格した者に限られます。

長期履修学生として入学が認められた場合には、通常の修業年限（修士課程 2 年）において支払う授業料の総額を、長期履修期間として認められた期間に均分して支払うことになります。（ただし、授業料が改定された場合、又は長期履修期間に変更があった場合は、改定又は変更時に授業料の見直しを行います。）

また、長期履修学生制度によるシステム安全工学分野の入学者は、教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の対象となりません。

○長期履修学生制度の期間

修士課程における履修期間は 3 年又は 4 年とします。

○長期履修学生制度への申請

希望者は**出願前に**、必ず指導予定教員（未定の場合は専攻主任）と長期履修の計画について相談を行ってください。その後、指導予定教員又は事前連絡教員の判断を仰いだうえで「**長期履修計画書**」（注）を作成し、所定の期日までに学務課教務係に提出してください（「長期履修計画書」には、指導予定教員又は事前連絡教員の署名・捺印が必要です）。

学内での審査を経たうえで、本人に結果を通知します。

長期履修学生コースで出願する際には、「長期履修計画書」（写）と次の各号のいずれかの証明書類を提出してください。

- （1）会社等に勤務している者は、所属長が証明した在職証明書（外国人の場合は在職証明書に加えて在留資格欄に「就労」と記載された住民票）
- （2）家事、育児に従事している者は、家事、育児に従事していることの申立書又はその事実を証明できる証明書

（注）「長期履修計画書」は、学務課教務係に連絡し、入手してください。

【長期履修学生制度に関する問い合わせ先】

学務課 教務係 電 話：0258-47-9246、9248
e-mail：kyomu-kakari@jcom.nagaokaut.ac.jp

【教育訓練給付制度に関する問い合わせ先】

学務課 教務企画係 電 話：0258-47-9245
e-mail：kyo-kikaku@jcom.nagaokaut.ac.jp

社会人学生のための教育方法の特例について

本学では、企業等に在職のまま入学を希望する社会人に対して、昭和 58 年度から特別選抜試験を実施し、社会人のブラッシュアップ教育の推進に努力しているところです。

しかしながら、2 年間の修学期間中、勤務を離れ、学業に専念することが必要となるため、大学院教育を受ける機会は制約されがちです。

このような社会人に対して、本学では、平成 8 年度から、大学院設置基準第 14 条の「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において、授業又は研究指導を行う等適切な方法により教育を行うことができる」という規程を適用して、教育方法の特例を実施しています。

この教育方法の特例を受けられる者は、社会人入試に出願し、合格した者に限られます。

1. 教育方法の特例による履修方法は、次のとおりです。

- (1) **指導教員の合意を得て**、授業及び研究指導の一部を夜間及び特定の時期に受講することができます。その時間帯は、原則として、平日は夜間の 18 時から 21 時 10 分までの間、土曜日は 8 時 50 分から 16 時 10 分までの間を予定しています。
- (2) 学位論文の作成が進展しており、企業等に研究に係る優れた施設や設備があり、それを用いた方が成果が上がると指導教員が認める場合は、勤務する企業等においても研究することができます。

2. この教育方法の特例を希望するときは、必ず出願前に下記まで連絡してください。

なお、入学時に指導教員のもとで、特例措置も含めた履修計画を作成します。

担 当	学務課 教務係
電 話	0258-47-9246、9248
e-mail	kyomu-kakari@jcom.nagaokaut.ac.jp